

1F-4使用済燃料プールから共用プールに輸送された 使用済燃料の調査結果について

2014年12月25日
東京電力株式会社



IRID

本資料の内容においては、技術研究組合国際廃炉研究開発機構 (IRID) の成果を活用しております。

概要

■概要

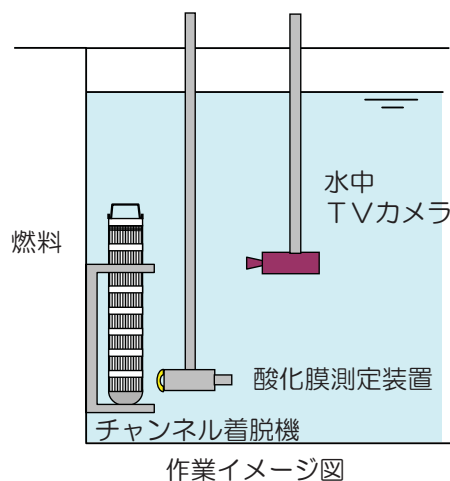
「平成25年度発電用原子炉等廃炉・安全技術基盤整備事業(使用済燃料プールから取り出した燃料集合体他の長期健全性評価)」の一環として、1F4SFPから取り出した使用済燃料に対する調査を実施。

■現場作業実施期間

平成26年11月18日～11月25日(実施済)

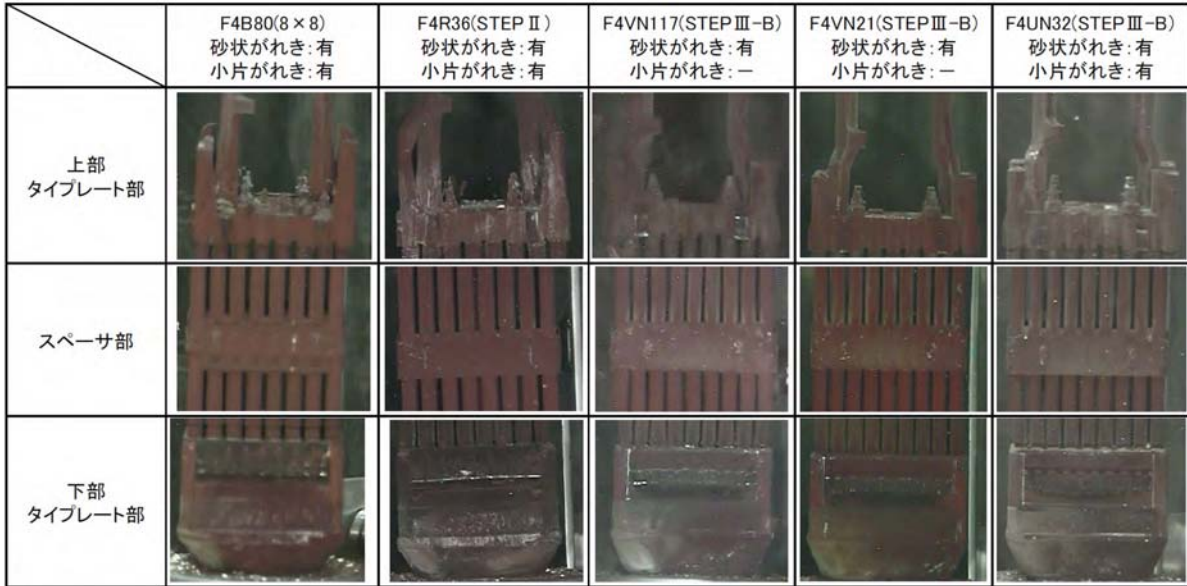
■実施内容

- ① 燃焼度、燃料タイプ等を勘案し選定した5体の燃料に対して、水中テレビカメラによる外観点検を実施
- ② 外観点検を実施する5体の燃料について、腐食の影響を確認するため被覆管の酸化膜の厚さを測定
- ③ 外観点検を実施する燃料のうち2体について、燃料上部のロックナット部の一部を一時的に取り外し、ロックナット内側等の外観観察を実施



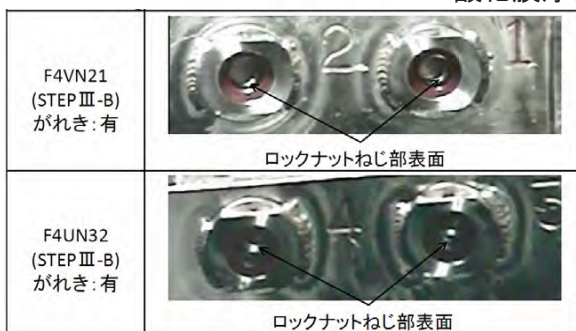
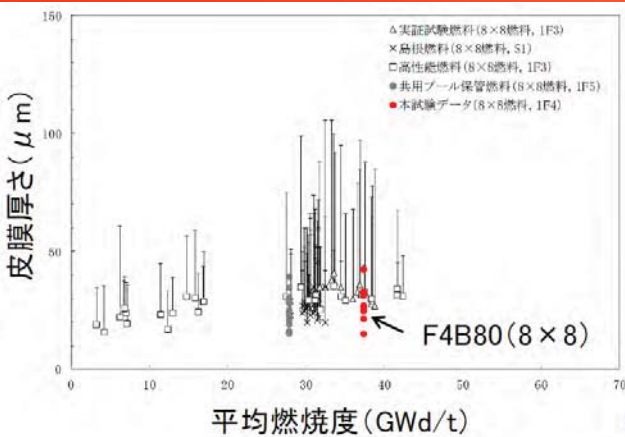
調査結果(1)

- 調査の結果、燃料に影響を及ぼす異常は確認されていない。
 - 外観点検の結果、燃料の大きな腐食、変形は確認されていない。
 - なお、コンクリートガレキの影響と想定される白色化が上部・下部で顕著に見受けられる。
 - 酸化膜厚さ測定の結果、異常な酸化膜厚さの増大は確認されていない。
 - ロックナットの内側に顕著な腐食は確認されていない。



外観点検映像

調査結果(2)



ロックナット観察映像